

平成25年度 新潟市秋葉区文化会館 事業報告書

No.	区分	企画	会場	内容	入場者数	時期
1	鑑賞	加藤登紀子コンサート	ホール	『ちあきの会』と共催で、「加藤登紀子コンサート」を実施する企画。昭和47年、加藤さんが歌って大ヒットした国民的愛唱歌「琵琶湖周遊の歌」は、大正4年、秋葉区大鹿在住の吉田千秋が当時の音楽誌に楽譜で発表した「ひつじぐさ」が原曲であることから、加藤さんには縁となる土地となっている。加藤さんのヒット曲で構成されたステージとアーティストの売りの一つである巧みな話術も併い、会館オープニング企画としてふさわしい催しであり、観客の満足度の高いコンサートとなった。	464人	平成25年10月12日(土)
2	鑑賞	ミュージカル「名犬ラッシー」	ホール	りゅーとびあとの共催により実施した。作品は、原作に忠実に、しかし、ラッシーにはデフォルメされた表現を用い、シンプルなステージ構成の中、一匹の犬をめぐる悲喜こもごもが描かれた。アマチュアのレベルを超える出演者の表現力とあいまって、観客に大きな感動を与える舞台となった。	812人	平成25年10月14日(月・祝)
3	鑑賞	[幼児向け音楽] 「5才になったらホールで音楽会」vol.1	ホール	新潟市民の方々に、一生に一度は「秋葉区文化会館」に足を運んでいただくことと、幼少時に保護者と上質な音楽体験の場を提供することを目的として、今年度は、トイ・マジック・オーケストラによる、おもちゃ楽器を使った音楽会を開催した。公演中は1時間にわたり、ただ鑑賞するだけではなく演奏者と一緒に歌ったり踊ったりと5才児でも飽きないように配慮された演出を行った。	278人	平成26年2月11日(火・祝)
4	鑑賞	古澤巖ヴァイオリン ～ロクサーヌ～	ホール	クラシックをベースに様々なジャンルの音楽を吸収し、独自の世界を切り開き、活躍されているヴァイオリニスト古澤巖を迎え、当初の本格的なヴァイオリンのコンサートであった。今まで中央へ行かなければ聞けなかったため大変好評であった。また、新潟県内からはもとより、東京や福井など遠方からも多数のお客様が来てくださった。	389人	平成26年3月9日(日)
5	鑑賞	地域で活動する8人の演奏家による「音楽の祭典」ジョイント・コンサート	ホール	平成25・26年度りゅーとびあアウトリーチ登録アーティストによるジョイント・コンサートを実施。上質な音楽を低料金で提供し、音楽人口の裾野拡大を図る。特別ゲストにアウトリーチ事業先進県である宮崎県より、県立芸術劇場音楽アウトリーチ事業初代登録アーティストの小川和紘さんを迎えた。尺八や箏、フルートやクラリネット・ヴァイオリン等、様々なジャンルの演奏を聴くことができた。	245人	平成26年3月16日(日)
6	鑑賞	当たり前の暮らしを求めて ～文化とひとづくり～ 「倉本聡講演会」	ホール 練習室1	会館のオープンを記念し、「文化とひとづくり」をテーマに倉本聡氏の講演会を、区と会館が共同で実施した。多数の応募が想定されたため、ホール480席に加え、練習室1でのライブビューイング100席を用意した。著名人ということもあり人気の高さが窺え、457組・914名分もの応募があった。その中で抽選を行い、当日の招待者を決定した。	484人	平成26年3月30日(日)
7	普及	[スタッフ育成] 市民スタッフ養成塾	全館	ホールボランティア育成を目的に、3回実施した。1回目は講師に元りゅーとびあのレセプションをされていた坂井洋子氏を迎え、ご自身の経験を基に座学とロールプレイングを行った。また座学にはマナーの要素も加えた。2回目は、元新潟放送アナウンサー小柳みのる氏を迎え、影アナ講習を行った。講師がアナウンススクール代表ということもあり、教え方や個人個人の癖の対処法など、影アナ経験者・未経験者問わずとても的確でわかり易い内容だった。3回目は、講師に当館指定管理者のトールツリーグループよりボランティア・コーディネーター磯山千映美を迎え、「だれでも楽しめる文化ボランティア」と題し講演を行った。	28人	平成25年12月19日(木) 平成26年2月6日(木) 平成26年3月6日(木)
8	普及	[市民プロデュース] ①クラシック クリスマス ワンコインコンサート ②クラシック ワンコインコンサート	ホール	①秋葉区内で活動している若い才能の発掘と育成を目的に実施した。今回は、ヴァイオリン、ピアノ、フルートで贈るクラシック クリスマスと題し、秋葉区出身のヴァイオリニスト・加藤礼子さん、西区出身のピアニスト・中村哲子さん、フルートとお話は前館長の小林氏が務めた。クリスマスの時期に、クリスマスにちなんだ曲目も入れ、ヴァイオリンとピアノにフルートの音が絡むことによって色彩豊かで楽しく華やかな音楽を楽しんでいただいた。 ②前回好評だったクラシック ワンコインコンサートの2回目を実施。今回は、スタインウェイピアノへの関心が高いことから、ピアノを中心としてヴァイオリンとのデュオで構成した。今回の演奏者は、新潟近郊の若手ピアニストとして評判の高い品田真彦氏、ヴァイオリンは新潟中央高校音楽科で同期だった山下はる香氏をお招きした。品田氏独特の軽いピアノタッチでの演奏は評判が高く、秋葉区内はもとより、地元上町から大勢のお客様に来ていただき、演奏終了後は若いアーティストへの応援の気持ちが表れ、歓声がひととき大きかった。	884人	①平成25年12月23日(日) ②平成26年2月23日(日)
9	普及	[アウトリーチ①] 学校鑑賞教室	各小学校	新津第二小学校は、5年生が参加。6曲演奏のうち1曲は児童の合唱曲「世界が一つになるまで」に尺八と箏が入った共演を行った。満日小学校は、5,6年生が参加。6曲のうち1曲は生徒たちが効果音を出す楽器を使用し、「砂山」という楽曲に参加した。尺八は子どもたちには馴染みが薄いため、虚無僧姿で登場し演奏するなど身近に感じてもらえる工夫があり、子どもたちも身を乗り出して聴いていた。	115人	平成26年2月7日(金) 平成26年2月14日(金)
10	普及	[アウトリーチ②] 学校鑑賞教室	各中学校	金津中学校は6曲演奏し、そのうちの1曲は生徒の合唱曲「夢の世界を」に箏と尺八が入って共演をした。新津第二中学校でも6曲演奏し、そのうちの1曲は代表の生徒たちが効果音を出す楽器を使用し、「砂山」という楽曲と一緒に作り上げた。	235人	平成26年2月7日(金) 平成26年2月14日(金)
11	創造	[創作プロジェクト] レジデンス合唱団・秋葉の街の合唱団	ホール 諸室	レジデンス合唱団指導者である彌勒忠史さんのプレコンサート&オリエンテーションを行なうことにより、指導者のお披露目と合唱団のイメージを広く伝え、その中で合唱団参加を募った。彌勒さんのプレコンサートについては、「初めて聴くカウンターテナーの魅力と彌勒さんの説得力抜群のエンターテインメントぶりに感動した」などお客様に非常に好評だった。そのためオリエンテーションにはプレコンサート入場者数の8割以上の方が参加し、関心の高さが伺えた。合唱団練習では、初回参加者は66名と多くの方々にご参加いただいた。その後も40名前後と、安定した参加者数で、そして合唱の練度も大いに高まった。	478人	プレコンサート&オリエンテーション:平成26年1月12日(日) 練習:平成26年2月2日～月3日実施
12	交流	[地域の魅力発見事業]街中探検隊	ホール 諸室	カメラを持って、まちなか探検隊になろうということで、「まちなか」を再発見できるツール、カメラを使い、何気ない風景の中から魅力を引き出す。第1回目の講座では、カメラについての座学を行い、前半はカメラの仕組み・カメラの絞り・露出などの講習、後半は文化会館の建物内外の撮影を行い、撮影した写真の講評を行った。2回目はホールの舞台での仕込み風景や当館モデルによる撮影及び講評を行った。	17人	平成26年1月11日(土) 平成26年3月8日(土)
13	交流	[青少年育成事業] 子ども記者育成講座	諸室	子どもたちに会館内の施設や構造について取材し、記事にまとめてもらった。1回目は、館内を見学し、舞台とスタジオでドラムを叩いて音の響きを確認したりなどを行い、感じたことをまとめてもらった。2回目は、会館内にある「カフェ・ド・オタウト」で働いているスタッフを取材し、その後館内の普段見ることができない場所、調光室やスタジオや舞台で練習している様子を観察したり、実際にホール施設を使っている様子を見て記事をまとめた。	12人	平成25年12月26日(木) 平成26年3月27日(木)
14	交流	[花作りプロジェクト] 市民ガーデンを作ろう!	館外	「花の種を植え、育て、愛でる」ように、「文化芸術の種を植え、育て鑑賞する」文化会館に育てていくという意味を含め開催した。今年度は、どんな庭にするか、どんな花を植えていくかという計画を練ることを行った。県立植物園の副園長から助言をいただきながら、建物全体を考慮し、現状の植栽配置も考えながらレイアウトを考えた。そして材料を今年度中に用意し、気候が良くなる来年度4月に近隣の町内会・保育園にもボランティア協力依頼を行い、植栽することとなった。	3人	平成26年3月12日(水)
15	交流	[文化活動者交流] 秋葉のアーティスト交流会	諸室	会館から発信する新しい「文化芸術」を目指し、そのきっかけづくりとなる、人材、情報交流の会を開催。今回は「タすげ」というコカリナグループに「故郷」「遙かな友に」「星の世界」3曲を演奏してもらった。最後は、出席者全員で「タすげ」の皆さんと故郷を合唱した。アットホームな雰囲気の中、身近で聴くことができないコカリナという楽器に参加者は興味津々で質問したり、楽器に触ったりと交流を深めた。	12人	平成26年3月21日(金・祝)
16	交流	[展示]	ロビー	会館の特徴とも言える「棚」を利用し、工芸品、作品を展示する。長井利夫さんによる小須戸織の道具や布が収められたり、新津・小須戸両写真クラブの四季折々の写真、田巻恵さんのレカンフラワーなど、多彩な展示を行い来館者を楽しませた。	-	通年
17	その他	オープニングイベント	ホール	秋葉区民待望の文化会館オープンに向け、一般市民で構成される「実行委員会」を設立、オープニング3日間の全イベントを組み立てた。21日は三部構成で、第一部はオープニング記念式典及び坂口綱男氏による開館記念特別講演会、第二部は未来を担う子どもたちの祭典、第三部は秋葉区文化会館開館『秋葉寄席』を実施。22日は地域の芸術芸能祭を実施。23日は歓喜のフィナーレとして、『N響スペシャルアンサンブルコンサート』を実施。期間中のイベントはいずれも大盛況で順調なスタートを切り、区民の開館への関心の高さを実感する3日間になった。	4,136人	平成25年9月21日(土)～23日(月)